

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ジョンF. ジャーム
第 2550 地区ガバナー：栃木 秀磨
事務所：〒325-0826 宇都宮市西原町 142
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail：m2550@agate.plala.or.jp



会長：村山 茂 幹事：植竹 一裕
事務局：(株)植竹虎太商店内 植竹 一裕
〒325-0056 那須塩原市本町 6-34
TEL:0287-62-1123・FAX:0287-63-9228
E-mail：k.uetake@coral.plala.or.jp
例会：毎週水曜日 12:30 - 13:30
割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2772回 村山年度 第38回 会報 2017 4-19 司会 安藤譲治君



お客様

米山記念奨学生 蘇呈歡君



会長挨拶 村山茂会長



皆様、今日は。先週は久しぶりの夜間例会ということで、楽しい時間を過ごさせていただき、有難うございました。

さて、本日は、輸送交通網についてお話しさせていただきます。交通網と言っても、鉄道、航空、船舶など、いわゆる基幹的な交通網（以降、「一次交通網」という。）は、国内はもとより世界中を網羅

し、人、物を大量輸送する役目を担っています。

これに対して、バス、トラック、タクシーなど（以降、「二次交通網」という。）は、一次交通網の各拠点から工場、商店、個人宅等への最終輸送を担う、あるいは、逆に、様々な現場から一次交通網の拠点に輸送するという形で、人、物の移動を支えています。この中で、物の輸送網の構築、改善については、技術の進歩を踏まえて経済的合理性の中で思考すれば、概ね解決できるのではないかと考えています。問題は、人の輸送、特に二次交通網における場合です。

一昨日、当地域の公共交通に関する会合に出席してまいりました。那須塩原市、那須町、大田原市、那珂川町における人の移動を担う交通網を考える会議です。

平成28年度1年間かけて行った、鉄道、バス、タクシーの利用状況等を詳細に調査集計した資料をもとに、それぞれの首長及び関係機関、学識経験者を交えて行われます。目的は、当地域への定住促進をはかり、地域の活力を維持発展させることにあります。その手段のひとつとして、公共交通網、特に二次交通網の整備が重点項目と位置付けられた訳です。

当地域の二次交通は、バスとタクシーそして自家用自動車が担っています。那須塩原市では7割以上の世帯が自家用自動車を保有しております。従って、現状では、大まかに言えば3割弱の世帯をカバーすればいいということになります。もう少し細かく言えば、自家用車を保有していても、通勤、通学、通院、買物といった日常生活を加えると、自家用車があるからといって公共交通は不要ということにはなりません。そうすると、3割を超える需要を賄うことも考慮しなくてはなりません。しかも、市内の移動ばかりでなく、例えば那須日赤病院といっ

出席報告 出席委員会 藤崎善隆君

（出席規定の免除会員数5名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU 数	修正出席率
本日 4月19日	38 (5)	28 (4)	10 (1)	75.7%		
前回 4月12日	38 (5)	32 (4)	6 (1)	86.5%	4人	97.3%
前々回 4月 5日	38 (5)	30 (3)	8 (2)	83.3%	3人	94.3%

欠席の場合は当日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 （以上石山桂子）
メール gqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

た広域の移動も日常的な事柄です。那須町、那珂川町には総合病院がございませんのでなおさらです。市内の移動でも、那須塩原駅や黒磯駅から黒磯南高等学校までの移動は、徒歩では少々距離がありますので、市営の「ゆ〜バス」が運行しています。市内にせよ広域にせよ公共交通網というインフラ整備は、地域の市民生活にとって非常に重要な問題である訳です。

では、現状の問題点は何かということになります。一次交通の鉄道の発着本数が少ない。新幹線は約1時間に1本。在来線のうち、黒磯駅から下りの東北線も1時間に1本程度です。朝夕の通勤通学を除けば、利用者が少ないので当然です。そして接続する二次交通側のバスも、朝夕を除くと本数はもっと少なく、しかも一次交通側との接続時間が必ずしもマッチングしない。その結果、乗り継ぎ時間のロスが大きく、例えば、那須町の芦野、伊王野方面に鉄道とバスで行くとすると、往復で日中の時間が経過してしまうということになりかねない。要するに、非常に使い勝手が悪いということです。

その点で言えば、タクシーは非常に便利です。ただ、一度の輸送人数がせいぜい4名程度で、バス、鉄道と比べると料金が嵩みます。また、黒磯から同じ芦野、伊王野方面に行く料金は約5,000円ですが、三人でご利用いただければ一人1,600円くらいですので、それほどの違いは無くなります。そして、ドアトードアですので、停留所あるいは駅に出向く必要はありません。電話1本でどこへでもお迎えに行きますので、乗り継ぎの必要はなく、時間のロスもありません。ちょっとした用事であれば、昼前には黒磯に帰ってこれる訳です。

この他、観光客やお仕事のお客様等への対応も考えなくてはなりません。何れにしても利用しやすい二次交通網の改革は、非常に重要な問題だと思っていますし、その多くを担うのはタクシー事業者であると考えております。

様々な許認可の問題はありますが、単に、物理的な運行、例えば定時定路線の運行、地域内、地域間、地域外の運行そして緊急時の運行などあらゆる運行が可能です。そのために物理的に新たなインフラを整備する必要はありません。複雑な運行時刻表も作成する必要はありません。問題は、料金と誰を対象として行政が支援し、いわゆる公共交通網とするかということに行着きます。

現時点では具体的にこうだということは申し上げられませんが、可能であれば、地域の全住民が利用可能な安価で使い勝手がいい、タクシーによる二次公共交通網が出来ればと思っています。

以上、本日は私の事業に関連してお話しさせていただきました。ご清聴有難うございました。

幹事報告 植竹一裕幹事

第37回幹事報告です。

- 那須塩原ハーフマラソン実行委員会より委員会開催案内が届きました。室井次男社会奉仕委員長にお渡し致しました。



第38回幹事報告です。

- 被害者支援センターとちぎより、自助グループメッセージ集「証 (Akashi)」が届きました。回覧しております。
- 本日例会終了後、定款・細則委員会を開催致します。担当委員の皆様はお残り下さい。



委員会報告 高木茂副会長



本日は担当である荒井副会長が欠席ですので、私が委員会報告を申し受けます。報告のある委員会は举手願います。



ニコニコボックス



檜山達郎君 誕生祝ありがとうございます。

黒澤洋一君 結婚祝ありがとうございます。

藤崎善隆君 誕生祝ありがとうございます。



卓話 プログラム委員会 委員長 鈴木久雄 君



皆さん今日は、本日の担当例会はプログラム委員会です。

村山年度も残り2ヶ月余りとなりました。例会もスムーズに進行できたのも、会員皆様方の御協力の賜物と感謝申し上げます。

プログラム委員会は、あまり話すことがありませんので、今日は米山奨学生、蘇呈歡君に卓話をいただきます。昨年10月12日、米山月間に因んでは話す時間が短かったので、今日は時間を取りました。米山奨学生としてのお話やアルバイトの話し等ししていただきたいと思います。

● 米山記念奨学生 活動報告 蘇呈歡君



皆さん、こんにちは。今日の卓話を担当させていただきます。卓話ですが、最近の私の農場実習と就職活動について報告させていただきます。



今年の一月から週一回のペースで宇都宮市にある農人たちという農場で実習しました。農場は宇都宮駅から約7km離れているところにあります。農場の責任者は宮本暢常(のぶとき)さんです。宮本さ

んは元々東京でサラリーマンとして働いていました。東北大震災後、仕事を辞めて実家の宇都宮に戻って農業を起業しました。この農場名産はアスパラとニンニクです。



極太のアスパラ、1本約30g~50gの重さがあってデパートに出荷しています。高島屋のセレクションコーナーでこの極太のアスパラ100gで約500円で売っています。80gのニンニク10個5000円で売っています。これは高級食材として出荷するものです。普通のアスパラやニンニクは宇都宮のスーパーと直売場にも出荷しています。



今年の一月頃、農場で最初の仕事はアスパラハウスでした。当時、アスパラはまだ冬眠中でした。芽はまだ出ていませんでした。ハウスでネット張りのしごとをしました。右側の写真で見える白いネットは私が張ったネットです。一定量のアスパラを収穫したら、来年また収穫するために、一回木にして光合成させなければなりません。従って、アスパラの木を倒さないために、ネットを張りました。



アスパラは成長が速い植物です。一日だいたい20cmくらい伸びます。宮本さんは一日2回収穫します。私は一回収穫したことがあります。傷や病気にかからない収穫の技があるので、慣れてない私はなかなかうまく収穫できませんでした。



野菜の成長をよく考えれば、良いローテーションを作って一年中収穫ができます。農人たちでは夏はトマト、ネギなどで、冬は春菊です。これは2月末に撮った写真です。春菊の収穫は、またできますが次の栽培の事前準備などの時間を計算すれば、早めに農地の整備をしなければなりません。右側には春菊を抜いてかごに詰めた写真です。抜いた春菊は農場で飼っているやぎの餌になります。



これは春菊ハウスを初段階で整備した写真です。これから、黒いビニールを外して施肥、耕耘などの作業に入ります。



私は施肥の作業もしました。左側は施肥した農地です。その時、石灰、海藻類から作ったミネラル肥料と有機肥料を播きました。右側の写真を見てください。白い粒状のものは石灰です。他の肥料は細か過ぎて見えません。



施肥の後、耕耘機で耕耘します。私は初めて耕耘機を使うので、写真の右側を見れば分かると思いますが、足跡が残っています。左側は、足跡が残らないように自分で挑戦して耕耘した農地の様子です。



露天農地での施肥もしました。長さ約50mくらいです。人力で牛堆肥を播きました。これは想像外、非常に大変な作業です。翌日に筋肉痛になりました。この作業を通じて今の若者はなぜ農業をやりたいかがわかりました。



農場では農作業以外にたまにかわいい猫との遊びもできます。この猫は今蛇口から出ている水を飲んでいます。右側は私の手と同じぐらいの長さのミミズです。このぐらいのミミズはよく見かけます。農場の話はここまでです。これからも週一回農場へ行きます。最近はトマトの栽培時期になるので、かなり忙しそうです。



これから、就職活動の話をさせていただきます。なぜ就職活動をするのか。理由は3つ、家族や先輩の意見、好奇心、勉強のためのです。家族や先輩に日本の企業で3、5年間仕事をしたいほうが良いと言われました。その理由は、日本の企業に就職して日本人の勤勉さと仕事の効率を勉強すれば将来どこの会社へ行っても役に立つと助言されたからです。最初、就職活動は何が面白いのかという気持ちで参加しましたが、授業では教えてもらえない

面白いビジネスを発見しました。日本の企業がしているビジネスを勉強するチャンスではないかと思いました。これから、面白いと思う企業を紹介させていただきます。まず、トヨタホームです。



鉄骨ラーメン構造を紹介させていただきます。普通の豚骨ラーメンと違いますので、勘違いしないでください。これは工場で作った家の一部です。ユニットと呼ばれています。マレーシアにいたときに父とよく工事現場へ仕事をしに行きます。マレーシアではこのような建て方を全然見たことがありません。このように家を建てるのを初めて知りました。



事前に工場で一つ一つのユニット作って、工事現場まで運んで家を建てます。一日か二日ぐらいのスピードで家が建てられるそうです。しかも、60年間の長期保証があります。この保証はトヨタグループ全体が支えますので、トヨタホームが倒産しても安心できます。

Gulliver
スマートを、たのしもう。



次は車の販売店ガリバーを紹介させていただきます。運営会社は株式会社IDOMという会社です。車販売会社ですが、カフェも経営しています。車販売店には一人ではなかなか入りにくいと思いますが、ガリバーの運営会社は面白いビジネスモデルを思いつきました。それはカフェの入りをやすさを利用して女性や家族に向けて車を販売することです。



女性のお客さんは友達と一緒に行くときに、コーヒーを飲みながら、車を見ることができます。



親が車を見ている時に、子供はここで遊べます。以上です。



4月19日欠席(敬称略)
荒井昌一・遠藤清和・小野安正・高木慶一
平山博・深町彰・室井次男・和気勝利
薄孝明・時庭稔

前回 4月12日分メイクアップ(敬称略)
荒井昌一・瀬尾紀夫・田中徹・藤崎善隆
前々回 4月 5日分メイクアップ(敬称略)
荒井昌一・豊田哲司・藤崎善隆

次回例会

平成29年 4月26日

担当 青少年奉仕委員会

近隣クラブ例会日

○ 火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028
○ 木曜日 塩原/塩原カントリークラブ 0287-35-2211
○ 木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

近隣クラブ例会日

○ 木曜日 大田原/ホテル龍城苑 0287-24-2525
○ 木曜日 那須/ホテルエビナール那須 0287-78-6000
○ 金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：稲垣政一・鳥居輝一・秋間 忍・高木慶一・安藤譲治